

建築構造計画（A 専門科目）

=====
科目名：

建築構造計画（英文科目名：Structural Planning）

1 単位 建築学科 5 年 前期 講義

担当教官：

山本昇（居室：建築学科棟 2 階）Email:yamasho@oyama-ct.ac.jp

授業目的：

基本設計から、施工、メンテナンスにいたる過程に沿って、建築の構造面における合理的な安全性と経済性に対する考え方を理解し設計への生かし方を検討する。加えて、法規上の制約、構造および仕上げ材料、施工法の概要などの周辺知識を習得する。

達成目標：

企画、基本計画、基本設計、実施設計の各段階における以下の項目を習得する。

- 1．構造計画の方法。
- 2．設計条件や法的規制。
- 3．関連する資料と周辺知識。

教科書：

彰国社編 [建築構造計画チェックリスト] 彰国社、1998 年

参考書：

学習方法：

予習-教科書に目を通し質問事項等を考えておく。

授業-教科書に沿った授業であるが、関連して説明する事項や、補足する知識が多いので、ノートをしっかりと取ること。

復習-授業で説明した事項や技術用語について、理解できているかどうかを確認すること。

学習保証時間：

100 分[時間 / 週] × 15[週 / 前期] = 1500 分 = 25.0 時間年

キーワード：

企画、設計、構造、設備、工法、施工、コスト、維持、管理

授業内容：

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. 構造計画の意義と位置づけ | ・・・2 週 |
| 2. 設計条件の整理 | ・・・1 週 |
| 3. 構造性能と構造方法の検討 | ・・・2 週 |
| 4. 設備計画と外装計画 | ・・・1 週 |
| 5. コスト計画と施工計画 | ・・・1 週 |
| 6. 耐震基準 | ・・・1 週 |
| 7. 平面断面計画 | ・・・1 週 |
| 8. 基礎と地業 | ・・・1 週 |
| 9. 構造部材の設計 | ・・・1 週 |
| 10. 二次部材の設計 | ・・・1 週 |
| 11. 各種構造のディテール | ・・・3 週 |

授業方法：

カリキュラム中の位置づけ：

建築計画、設計、構造、設備など、各授業科目で学んだことを関連付け、周辺知識を補強する科目である。また、実際に建築設計を実施する流れに沿って、構造計画の方法を理解する。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

全ての専門科目

この科目と同時に学ぶ関連科目

この科目の後に学ぶ関連科目

評価方法：

定期試験 80% 出欠状況、受講態度 20%

連絡事項：

学生へのメッセージ：

これまで学んだ専門科目では、科目相互の関連付けは希薄であった。本科目では、実際の設計施工に携わっている技術者向けの参考書を教科書としていることから分かるように、現実の建築業務に役立つ知識や情報を習得することに主眼を置いている。したがって、就職を控えた最終学年の学生として、真剣に授業を受けられたい。

=====